



PTAだより

白根高校 令和元年11月15日発行 (第93号)



第69回全国高等学校PTA 連合会大会『京都大会』参加報告

3 学年保護者 PTA 会長 中澤 剛

令和元年8月22日、23日の2日間の日程で開催されました、この大会にPTA役員代表として相沢校長先生と参加させていただきました。

全国よりPTA役員や教育関係者が集い10,000人を超える中での大会でした。

『Kyoから！未来を拓く』をメインテーマに掲げて子どもたちの健やかな未来を創るためには、どのように考えて何をすればよいのかということについて、情報と知恵を集めて話し合いを重ねることを通して、課題としっかり向きあえる大会にする。というものでした。過去に開催されました全国大会等でありました「子どもたちの健全育成」「家庭教育の向上」「子どもたちを取り巻く今日の課題」「PTA活動と役割」等様々な課題について議論が重ねられてきました。子どもの将来のため、PTA活動から生み出され蓄えられてきた財産を元に子どもたちの未来をこの京都大会で重ねて、受け継ぎ今後のPTA活動につなげる大会でした。

分科会では、基調講演とパネルディスカッションに参加致しました。テーマ「すぐその未来のしごと」と題して、Society5.0が訪れようとしています。人工知能(AI)、ビッグデータ、Internet of Things(IoT)等、あらゆる産業や社会生活に取り入れられ、私たちの生活は劇的に便利で快適なものになっていくといわれています。一方で、このような人類がこれまで経験したことがない急激な変化を前に、漠然とした不安もあります。人間の強みはどこにあるのか。学びや仕事にどのように向き合っていけば良いか。必要なことは、どのような時代が訪れるかを知り、今打てる手は何かを考えること。人間にしかできない想像力と創造力で子どもが就きたい仕事について各家庭で話し合いができるようにしましょう。という内容でした。この大会に参加させていただいて改めてこれからの「超スマート社会での子どもたちとどの様に向き合い、PTA活動を進めて行くべきか」を考えながら京都を後にしました。

学校応援プロジェクト(Part1)終わる

8月3日(土)、30℃を超える真夏の午前中、校内の道路標示を行いました。卒業生の保護者の指導の下、矢印の型をテープで作り、内側を白い塗料で塗って行きました。仕上がりは、以下の写真のとおりとなりました。PTA会長をはじめとする担当者の皆様、お疲れ様でした。

校内へ車を乗り入れる際は、遠回りとなりますが、標示された矢印に従って安全運転をお願いいたします。

担当職員



第 65 回関東地区高等学校 PTA 連合会大会(埼玉大会)に参加して」

P T A 副会長 森田 公

令和元年7月12日(金)～13日(土)に開催されました大会に、佐野教頭先生、金丸副会長と共に参加させていただきました。会場の大宮ソニックシティでは、「絆を深め、新しい時代を担う子どもたちを育てよう」をメインテーマに、埼玉県内の高校による管弦楽や合唱、ダンスのアトラクションに迎えられ、関東各都県から集まった約3,000人の熱気と共に盛大に開会をいたしました。

記念講演では、女優の向井亜紀氏(55歳とは思えないスタイルと美しさ)が、「がん」を含め、5度にわたる自身の手術や闘病生活、また、夫(高田延彦氏)との代理出産までの過程や、その後、授かった双子の子供との生活や体験談を、時に明るく、時に涙を流しながら講演され、その中で、「突然、余命宣告をされたとき、周りに心配かけまいと笑顔を絶やさないこと。そして、ノートに死ぬまでにやりたい事を100個書いて、それを実現するまで生き抜くことを目標とする、「夢が生きる力になる。」というその言葉に、私たちが今、こうして普通に生きていることの凄さ、当たり前ではなく、大切に貴重な時間を過ごしているということ、改めて考えさせられた非常に素晴らしい講演でした。

夜には、山梨県内の参加者による交流会が行われ、他校の役員の皆さんとPTA活動内容や学校の特色などの意見交換を行いながら交流を深めました。

2日目の分科会では、山梨代表都留興譲館高校PTAをはじめ、多くの学校・PTAによる発表が行われ、どこの学校でも保護者をPTA活動に参加させることの難しさが課題となっておりました。

白根高でも例外ではなく、保護者からは、「小中学校とは違い高校にPTAが必要？」や、「親が学校に来るのを嫌がるから」などの声をまだまだ聞きます。しかし、保護者の力が集まると大きな力が生まれ、多くの活動や改善ができます。「子どもは学校で何をしているのか?」、「通知を出してくれないから行事等がわからないなど、些細なことから、「ならばPTAをやってみよう!」と、多くの皆さんにPTA活動に参加をしてもらいたいです。当然、参加しやすいPTAづくりも必要ですが。

大会に参加し、今後も、子どもたちの成長をサポートしていくためにも、学校と目的を共有し、情報を交換し、互いに協力・信頼して取り組み、また、子どもたちの人格の完成に資するよう支援していけるような、白根高PTA活動ができればと感じ、埼玉を後にしました。

* P T A 開放講座 クリスマスケーキ作りに、少し空きがあります。また、ペンキ塗りの参加者が少ないので、ご協力をお願いします。詳細は、HPをご覧ください。

オヤジ焼きそばに参加して

P T A 副会長 黒澤貴子

白根祭恒例行事の「オヤジ焼きそば」は今年で5年目を迎えました。父親だって学校行事に参加して子供との関りを増やしたい!との思いがきっかけで始まったと伺っています。そのコンセプトのおかげか毎年お父さん方が大活躍してくれています。

今年も暑い日差しの中、お父さん方は汗だくになりながら焼きそば約500食・フルーツ約200本を焼き上げ、お母さん方は材料の下ごしらえ・盛り付け・販売を担当。昨年に比べ販売数を増やしたため大変かと思いましたが、大勢の保護者の皆様のご協力のもとあっという間に完売することができました。

子供が「白根祭の時に父親・母親が焼きそばを作ってたな…」なんて思いが残ってくれたらと参加を決め、3年間オヤジ焼きそばに参加させていただきました。来年からはお揃いのオヤジTシャツを着てオヤジ焼きそばに参加はできませんが、お客さんとして参加させて頂こうと思っています。今後も「オヤジ焼きそば」が盛り上がるよう、保護者の皆様のご協力をお願いします。



編集後記

秋がめっきり深まり、木々の色付きが美しい季節を迎えております。高校時代は、人生の中でも貴重な三年間です。友も様々な地域から集まり、友達関係も広がり、色々な経験から学び、人間として成長していく時期です。

年間を通じ、最大行事の学園祭に参加させて頂き、子供たちの近くで接し、楽しんでいる姿を見ることが出来たととても有意義でした。

今回のPTA新聞発行にご協力頂いた皆様、先生方ありがとうございました。

3学年 企画広報委員(有賀)